

「自分ごと」として 沖縄を考える

—基地の島・沖縄の実像、戦争の記憶—

沖縄県平和祈念資料館と平和の礎

【講演】安田浩一さん（ノンフィクションライター）

沖縄と東京、右と左。国と国……。政策も報道もそれぞれに温度差があり、ネット上では応援団とアンチが激しいやりとりを繰り返しています。

沖縄がこの国の矛盾を長く抱えさせられていることが、あるべき姿ではないことは確かです。それが実はこの国の民主主義です。どこか人ごと——だからこそ民主主義のありよう、私たちの国のありようを問うことです。

6月23日「沖縄慰霊の日」の前に、安田浩一さんの講演から一緒に考えましょう。



安田浩一（やすだ こういち）

1964年、静岡県生まれ。週刊誌記者を経てフリーライターに。2024年朝日新聞書評委員。2012年、『ネットと愛国』（講談社）で講談社ノンフィクション賞、2015年、月刊誌「G2 Vol.17」（講談社）に発表した『ルポ外国人「隷属」労働者』（講談社）で大宅ノンフィクション賞を受賞。『「右翼」の戦後史』（講談社現代新書）『沖縄の新聞は本当に「偏向」しているのか』（朝日文庫）『沖縄の新聞記者』（高文研）『なぜ市民は“座り込む”のか』（朝日新聞出版）など編著書多数。

2024年6月8日（土）

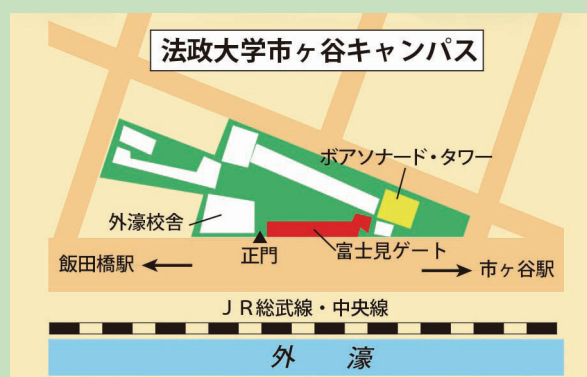
13時開場 13時30分開始
16時終了予定

会場：法政大学市ヶ谷キャンパス
外濠校舎 3階 S307 教室

資料代：500円 ※予約不要

※後日 YouTube で配信予定。

「20240608UPLAN 安田浩一さん講演『自分ごと』として沖縄を考える」



JR 総武線 市ヶ谷駅・飯田橋駅

都営地下鉄新宿線 市ヶ谷駅 大江戸線 飯田橋駅

東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅・飯田橋駅

ともに下車徒歩 10 分

共催：沖縄戦首都圏の会

法政大学沖縄文化研究所

沖縄平和ネットワーク首都圏の会

連絡先（沖縄戦首都圏の会）：〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-19-8 杉山ビル 2F 千代田区労協気付

TEL：03-3264-2905 FAX：03-6272-5263 問合せ（携帯）：080-5874-0724（事務局）

